



特定非営利活動法人
ケア・センター やわらぎ

事業報告書

平成 31 年（令和元年）度

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日



平成31年（令和元年）度 事業報告書

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

事業概要

1 やわらぎ・立川事業所

- ◇介護保険事業
 - ・訪問介護★
 - ・認知症対応型通所介護（定員10名）★
- ◇その他事業
 - ・立川市地域健康づくり
 - ・グループ支援事業
 - ・学校介助員事業
- ◇研修事業
 - ・介護職員初任者研修

2 やわらぎホーム・西立川事業所

- ◇介護保険事業
 - ・認知症対応型共同生活介護
(定員18名)
 - ・短期入所生活介護 (定員20名)
 - ・通所介護 (定員23名)
 - ・訪問介護

3 やわらぎ・国分寺事業所

- ◇介護保険事業
 - ・訪問介護★
 - ・居宅介護支援★
 - ・認知症対応型通所介護（定員12名）★

4 やわらぎ・阿佐谷事業所

- ◇事業企画部

5 法人本部

- ◇管理業務
 - ・理事会等の運営
 - ・総務・広報
 - ・経理・会計、請求業務
 - ・労務・人事

★ ISO9001認証取得事業所

目次

ごあいさつ	2
ケア・センターやわらぎがめざすもの	2
ケア・センターやわらぎがとりくんだこと	2
やわらぎ・立川事業所	3
やわらぎホーム・西立川事業所	7
やわらぎ・国分寺事業所	13
法人本部	17
特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ 職種別人員一覧	20

MAP



ごあいさつ

平成31年（令和元年）度の活動報告をさせて頂きます。

現在は激動の年の始まりといつても過言ではありません。平成31年度期首からの業績は前年度の流れが続き順調な滑り出しだしたが、期末の2月から3月はコロナ禍により徐々に当法人でもさまざまな場面でダメージを受けました。このダメージは令和2年度に入りより強い影響を及ぼしています。このような状況の中、ご利用者様、職員ともに予防対策をきちんとし、感染などの発生はなく現在まで通常のサービス提供を行っておりますことをご報告させて頂きます。

人材確保は毎年のことですが、今年度は資金をかけてよい人材確保に注力したことから、新人採用、中途採用ともに人材は適宜充足することができました。

人材教育の取組みは、毎年ご報告しております次のプログラムを今年度も継続して実施してきました。介護職員初任者研修21年、「ISO9001」20年、「実践報告会」12年、認知症予防だんだんダンス6年、こども食堂・勉強会（児童虐待予防事業）4年、大手企業との研修事業3年、岡山県西粟倉村との協働事業2年、介護機器・介護ツールの導入3年など継続した取組みが出来ました。これらの取組みが続けてきたことに感謝し、これからも継続する努力をしていきます。

新規研修事業としては、介護福祉士の有資格者を多く輩出するため「介護福祉士実務者研修」をやわらぎ・にんじん両法人で協力し独自で開催しました。

介護機器・介護ツールを平成31年度は数多く導入し、利用者様の処遇改善や職員の負担軽減に努めています。検証等は来年度にご報告致します。

こども食堂・勉強会（児童虐待予防推進事業）は、参加者のべ150名（11月～2月）ほどの親子が、工作、料理作りなどを楽しみ、出来上がった作品を全員の前でご披露し、拍手喝采でおおいに盛り上りました。残念なことにこの取組みもコロナ禍により3月から休止しています。

特筆することは、施設サービス在宅サービス共に看取りを含め重度ケースが年々多くなってきたことです。また、今年度は各事業所の規模や地域性を鑑み、リハ職員の増員とリハ機器を導入しリハビリに力をいれてきました。介護度が軽くなる方も現れ、それぞれの方の目標が明確になり多くのご利用者が楽しんでおられます。

ケア・センター・やわらぎのめざすもの

- 1 個人の尊厳と人権を守り、利用者の自立と社会参加への支援に邁進します。
- 2 利用者一人ひとりが、その人らしい充実した日々を過ごすに最もふさわしいサービスの調整と提供に努めます。
- 3 「地域に根ざした頼りにされる施設づくり」を目指して、法人・施設の持つ機能を最大限に活かし、地域社会への貢献に努めます。
- 4 職員が明るく爽やかに、かつ積極的に活動できるための職場環境の創造に努めます。
- 5 民間社会福祉事業者として先駆的、独自性に富んだ福祉事業の開発と、健全て活力ある経営を永続させるための経営基盤の確立に努めます。

ケア・センター・やわらぎがとりくんだこと

- 1 重度の認知症の方々の受け入れ（認知症デイサービス）
- 2 障害者（児）のホームヘルプサービス
- 3 多様なニーズを持つ在宅利用者へのホームヘルプサービス
- 4 在宅での困難ケースの受け入れ（ショートステイ）
- 5 グループホームでの看取り
- 6 デイサービスでの積極的な生活リハビリ
- 7 他機関との連携によるサービス提供
- 8 認知症予防ダンス「だんだんダンス」の啓発活動
- 9 地域の方々と一緒に祭りの開催



特定非営利活動法人
ケア・センターやわらぎ
代表理事 石川 治江



TACHIKAWA

やわらぎ・立川事業所

事業所長から

立川駅南口に位置するケア・センター「やわらぎ立川」は「地域に根差した頼りになる施設づくり」を目指し、訪問介護と通所介護の2事業を行っています。スタッフ13名と46名のヘルパーさんと、元気に笑い共に歩んだ1年でした。

通所介護では、利用者主体を基本にご利用者様の生きがいと共に見つけ、一人ひとりが主役になれるお手伝いをしています。「やわらぎデイ 大好き！」の声やご家族からの感謝の言葉をいただくことが、スタッフの励みとなっています。

ホームヘルプとデイサービスとの連携も、ご利用者様とご家族の安心と信頼につながっています。

運営推進会議の開催や地域の防災カフェ、立川南口まちづくり協議会などに参加させていただくことで、各関係機関の皆さんに私たちの活動を知っていただくのと同時に、今後の活動の場を広げていきたいと考えています。

商店街主催の立川南フェスタのイベントにも参加しました。健康茶を振る舞いながらの介護相談や脳年齢テスト、子どもたち参加のゲームなど、500名の参加があり「だんだんダンス」と一緒に踊ったりと、地域の方々と交流を持ち、「やわらぎ立川」のことを知っていただくきっかけとなっています。

皆さまを温かくお迎えする気持ちを大切に、元気になるやわらぎ立川を目指しています。

■ 訪問介護事業

営業地域 立川市・国立市
サービス提供日 365日

■ 地域密着認知症対応型通所介護事業

定員 10名
営業地域 立川市
営業日時 月～土 8:30～17:30

■ その他

- 1 やわらぎ健康体操事業
- 2 研修センター事業
- 3 学級介助員事業



1 訪問介護事業 (ホームヘルプ)

住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるお手伝いをして参りました。ご利用者様、ご家族様の気持ちに寄り添いながらケアを実践しております。介護保険でまかなえない部分をカバーする独自の有償サービスのご利用者様はこの一年でグンと増え感謝の声が届いています。

生活支援センター事業も継続しております。育児支援では忙しい日々を送られているお母様方より「ありがとうございます」との声を多くいただきました。今後も地域の方々との連携を密に介護の担い手として活動して参ります。

(1) 事業報告

初任者研修修了（ホームヘルプ2級）または介護福祉士の資格を持った介護職員が、在宅での支援を必要とされる方々へサービスをお届けしています。

[ホームヘルプサービス]

・介護保険

生活援助：買物 調理 洗濯 掃除等

身体介護：清拭 オムツ交換 入浴

車いす介助 通院通所介助等

・総合事業（生活支援センター）

生活支援：買物 調理 洗濯 掃除等

・障害者総合支援

居宅介護：買物 調理 洗濯 掃除等

入浴 通院介助

同行援護：視覚障害者への外出介助

重度訪問：肢体不自由の方への支援

移動支援：各市委託による余暇活動

・育児支援事業

産後の母子を対象としたサービス

家事援助・検診同行・赤ちゃんのお世話など

・有償サービス

介護保険では対応できないサービス

病院内での介助・見守り・散歩や余暇活動等

(2) 実績報告

【年間延べ利用時間】

	平成30年度	平成31年度	前年比
介護保険	10,091時間	9,665時間	95.7%
総合事業	2,062時間	1,988時間	96.4%
障害総合	5,987時間	5,813時間	97.0%
有 償	1,524時間	2,569時間	169.0%
合 計	19,664時間	20,035時間	102.0%

利用時間の縛りがあり合計利用時間の減少がみられます。介護保険の不足分を有償で補うことが多く利用時間が増加しています。

(3) 取り組んだこと、トピック

毎月開催しているヘルパー会議では、年に一度外部講師を招いての出前講座を実施しています。

平成31年度は介護職の悩みである「腰痛」を予防すると題してヘルスカウンセラーによる講義とストレッチ体操腰痛予防体操を実践しました。次回も出前講座を予定しています。



介護技術勉強会



地域のイベント「立川南フェスタ」に参加し、介護相談や健康体操の普及に努めています。



地域のイベント「立川南フェスタ」 2019.9.23

2 通所介護事業 (デイサービス)

認知症対応型に特化したデイサービスを目指しています。定員10名様、小さいデイだから出来ることがたくさんあります。「出来ることは自分で！」を合言葉に、生活の中でも今までやってきたことを思い出していただきながら、皆で集える憩いの場を提供しています。

毎週火曜日開催の「はるカフェ」は、地域の方々に気軽にご参加いただき、体操や交流会など一緒に楽しめる場となっております。

毎月発行のニュースレター「まんまる新聞」に行事やトピックスの写真を載せて、ご家族や地域の皆さんにも好評をいただいております。また、毎月のイベント等をチラシに載せ、広報しています。

(1) 事業報告

1 送迎

送迎の時間帯は、ご利用者様とご家族のご希望に添い対応しています。

車いすの方も個別対応しています。

2 入浴

ご利用者様の身体状況や体調確認をしての入浴となります。入浴を拒否してこられた方へも、拒否が少なくなるよう誘導方法や介助方法も工夫しています。

3 食事

高齢者専門の配食業者に委託し、ご利用者様の嚥下状態に配慮したお食事をご用意しております。



「おいしい」と毎回皆様にご好評いただいております。

4 排泄

ご利用者様の排泄リズムを考慮し、その方に合った誘導や介助をしております。

(2) 実績報告

【年間利用者延人数】

	平成30年度	平成31年度	前年比
介護保険	2,252名	2,240名	99.5%
総合事業	0名	0名	—
稼働率	72%	72%	100%
平均要介護度	2.4	2.4	—
平均年齢	83.3歳	84.0歳	—

年間を通して入所などでばらつきがありますが、昨年と同じ稼働率を維持しています。認知症状の対応で曜日を分けるなどして受け入れの工夫をしています。曜日ごとに特色があります。

(3) 取り組んだこと、トピック

【ランチクッキング】

みんなで作ると楽しいし美味しいよ



【ゴルフ大会コンペ】

歩け歩けやわらぎゴルフ場
昔も今も変わらない



【楽しいおでかけ♪】

立川諏訪神社の菊祭りや
根川緑道のお花見など、
積極的にお出かけしました



【避難訓練】

地域の方と消防訓練を行いました

【はるカフェ】

火曜日に定期開催、「だんだんダンス」や軽体操を地域の方たちと一緒に行って、楽しく交流しています



3 その他事業

地域の高齢者やご家族様の健康維持・増進のための健康づくり事業と、より多くの皆さんに資格取得をすすめる研修事業を行っております。
また、立川市の小中学校の学級介助員事業も行いました。



(1) やわらぎ健康体操事業

平成17年度から立川市の委託事業として行ってきました「いきいき健康づくり事業」は、その後継承事業となる「地域健康づくりグループ支援事業」と名称が変わり、通算15年継続いたしましたが、令和元年9月に終了となりました。

現在、「やわらぎ健康体操」として、引き続き30グループ・会員400名と共に独自のサービスを提供し、「地域に喜ばれる健康体操指導」事業を目指しています。



(2) だんだんダンスと やわらぎ自主事業の取り組み

- ・だんだんダンス講座の開講
- ・高齢者に向けた健康講座
(品川区高齢者連合会シンポジウム)
- ・井上レディース健康イベント開催



(3) 介護福祉士実務者研修事業

これから介護に従事する方及び介護福祉士の資格取得を目指している方向けに、実務者研修通信課程（全450時間）を7月に新規開講いたしました。

eラーニングシステムを使った個別学習で、受講生のスマートフォンやタブレットを使ってサイトへログインし自宅学習を始められることから、隙間時間に勉強できたと好評でした。11月からのスクーリング（52.5時間）では、介護の基礎知識や介護技術の基本、医療的ケアの実践などを学び、12月15日実技試験を終え、受講生10名全員が合格し、資格を取得しました。



(4) 介護職員初任者研修事業

介護技術の習得を目指し、全140時間を履修し、筆記試験に合格された方に、修了証明書をお渡しました。独自に法人内施設実習を組み入れていることが評価され、講師の方々に支えられて継続しています。さらに、まとめや振り返りの授業、補講・再試験制度なども充実させ、仕事との両立、安心して資格取得にチャレンジできるように支援しています。就職支援キャンペーンの実施により、当法人への就労にも貢献しました。

* 平成31年度研修実績： 4回開講・受講生 33名

(5) 学級介助員事業

立川市から市内の小中学校通学学級での介助員の配置及びコーディネートの委託を受け、平成31年度も引き続き実施しました。4名の身体に障害を持つ生徒の介助を行い、内容は通常の授業や校内移動のサポート、課外授業（遠足・修学旅行・運動会・音楽会・スキー教室・社会科見学等）の同行介助、夏休みのプール介助等です。中学生については、自立に向けての支援の方向性を、学校、教育委員会と連携を取りながら決め、ご本人の気持ちに寄り添った形で支援を行っています。



NISHITACHIKAWA

主幹から

やわらぎ西立川事業所は立川市の昭和記念公園の南側、自然豊かで見晴らしの良い場所に位置しています。ベランダからは富士山や昭和記念公園の花火大会などを見ることができます。利用者の皆様と共に移りゆく季節を感じながら過ごすことのできる良い施設です。

当事業所ではグループホーム、ショートステイ、デイサービス、ホームヘルプ事業の4事業を実施しました。昨年度より開始したホームヘルプ事業は、事業集約化に伴い10月を以って廃止しています。

「やわらぎは楽しい」「また来たい」「やわらぎがあって本当に良かった」と思っていただける施設を目指し、家庭的できめ細かいケアの提供とレクリエーション活動の充実や利用者様と一緒に過ごす時間を増やす努力をして参りました。

平成31年度は、従来業務の課題を分析し記録の簡素化、ミーティング時間の見直しを図り働きやすい環境づくりの改善を進めました。また、4事業が一体となっている強みを生かし、いつでもご案内できる窓口体制を構築し迅速に対応しました。地域住民が気軽に参加できる“はるカフェ”的定期開催や積極的なボランティア・研修生の受入れも年々増加しており、地域にとって頼りになる福祉拠点を目指しました。

■ 認知症対応型共同生活介護事業

定員	2ユニット 18名
営業地域	立川市（地域密着型サービス）
対象者	立川市内在住で要支援2以上

■ 短期入所生活介護事業

定員	2ユニット 20名
営業地域	立川市、昭島市、日野市、国分寺市、国立市
営業日・時間	24時間、365日

■ 通所介護事業

定員	23名
営業地域	立川市、昭島市
営業日・時間	月～土 8:30～17:30

■ 訪問介護事業

営業地域	立川市・昭島市
サービス提供日	365日
令和元年10月末	廃止



1 認知症対応型共同生活介護事業 (認知症グループホーム)



開設から14年が経過し、入居者様の高齢化によりADLの低下が顕著にみられ、身体介護のニーズが高まっています。私たちは入居者様一人ひとりの特性や入所前の生活習慣を知り、家庭生活の延長としてゆったりした環境の中で、やすらぎのある生活が送れるよう支援しています。また、入居者様が重度化しても、グループホームらしい生活が送れるよう、入居者様とご家族様のお話にじっくりと耳を傾け、できる限り安心安全に過ごしていただけるように努めました。

(1) 事業報告

1 食事

ホーム内の厨房にて栄養士が作成した献立により提供しております。利用者様に合わせた食事形態や制限食にも対応しております。

2 入浴

週2回を基本に入浴を行っております。また、ご家庭での習慣に合わせて入浴回数を調整しています。個浴での対応が難しくなった利用者様には寝台型浴槽での入浴も行っています。

3 排泄

個々の排泄パターンに合わせ介助を行い、普段はオムツを使用されている方も可能な限りトイレで排泄できるよう支援しました。

4 外出・散歩

調理のための買い物やお散歩、ドライブなど外出の機会を多く設けております。外出時の危険箇所を地図にまとめ、安全に外出できるよう配慮しました。

(3) 取り組んだこと、トピック

今年度は、室内でも楽しめるおやつづくりや昼食づくりに加え、ご家族の方に施設の食事の様子を楽しんでいただく昼食会を実施しました。また、地域交流にも力を入れ立川文化祭の出展やフリーマーケットへの参加を行いました。また、全体外出の企画でご家族様と一緒にお食事会に出かけることも出来ました。

日常生活の中にその方のできる活動や季節の行事を織り込んで、入居者様が主体的に参加できる機会を設けるように工夫いたしました。また、犬型ロボットAiboを導入し触れ合いを通じて会話が広がっています。

職員教育にも力を入れ認知症介護実践者研修の修了者を増やし、多面的に認知症ケアのかかわりができるよう努めました。



初詣



節分イベント



全体外出（お食事会）



町内夏祭りへの参加



ハロウィンイベント



おやつづくり

(2) 実績報告

	平成30年度	平成31年度	前年比
年間利用者延人数	6,330名	6,438名	101.7%
稼働率	96.3%	97.7%	+1.4%
平均要介護度	2.7	2.5	-0.2
平均年齢	89.8	90.4	+0.6

前年度に比べて入院された方が少なかったことから稼働率が微増しています。今年度、4名の方が退所されました。（入院2名、転居1名、ご逝去1名）入院から入居までの空床期間を極力短縮できるよう関係機関と連携を密にとりました。また、市内の包括支援センターや居宅介護支援事業所、自事業所のデイサービスやショートステイご利用者様への見学や紹介を行い、待機者の確保に努めました。

2 短期入所生活介護事業 (ショートステイ)



一般型と認知症のユニットがそれぞれ10床、合計20床の全室個室ユニットケアのショートステイを行っています。どちらのユニットも定期的にご利用される方がいる中、ご家族やご本人の都合で緊急かつ長期にご利用される方も対応して参りました。また病院から在宅に戻るまでの間施設としての利用やご家族のレスパイントとしての利用など多様なニーズに応えながら、職員が利用者様との馴染みの関係が築けるよう、笑顔のあふれる施設を目指して参りました。

(1) 事業報告

1 食事

ホーム内の厨房にて栄養士が作成した献立により提供しております。利用者様に合わせた食事形態や制限食にも対応しております。

2 入浴

基本的に週2回、個浴もしくは特殊浴槽にて入浴を行っております。ご家庭での習慣に合わせて入浴回数を調整しています。

3 排泄

個々の排泄パターンに合わせ介助を行い、普段はオムツを使用されている方も可能な限りトイレで排泄できるよう支援しました。

4 レクリエーション

体操や簡単なゲーム、調理、外出など職員同士が協力しながら実施しております。

(2) 実績報告

		平成30年度	平成31年度	前年比
年間利用者延人数	要介護	6,115名	5,836名	95.4%
	要支援	69名	48名	69.5%
稼働率	84.4%	80.4%	-4.4%	
平均要介護度	3.3	2.8	+0.5	

平成31年度の年間利用者延人数合計は5,884名(5,836名+48名)で前年度6,184名に比べて4.4%減となりました。感染症により利用率の低下や長期リピーターの入所等により空床を埋めることができなかったのが要因です。居宅事業所への営業を強化し、認知症重度者の積極的な受け入れやリハビリ機材を導入し個別ニーズに即した対応を強化しました。また、地域包括支援センターや行政からの緊急依頼(生活支援ショートや措置入所)にも迅速に対応いたしました。今後もご家族様、ケアマネージャーのニーズに柔軟に対応し頼りにされるショートステイを目指します。

(3) 取り組んだこと、トピック

ご利用者様とのコミュニケーションやレクリエーション等の時間を多く持てるよう、他職種の協力を得て計画的にクラブ活動・ボランティア交流・お散歩等を行いました。またリハビリ機器の導入により、さらに充実した日常生活の活性化を取り組んでいます。業務面においては業務改善を行い、職員間の連絡体制の強化を図っています。ご家族様宛の記録やミニ体操の実施、リピーターの方への活動写真の添付など、日中活動の充実とご家族様の満足度向上を目指した取り組みを職員一体となって行いました。



クリスマス会



初詣



コーヒーサロン



干し柿づくり



ハロウィンイベント



機能訓練

3 通所介護事業 (デイサービス)



ご利用者様のニーズに沿った丁寧なケアと個別・小グループ活動の充実、多彩なボランティアさんや職員によるイベントなどをほぼ毎日開催し、「玉手箱デイ・地域一番店」を合言葉に活動して参りました。地域に根差したアットホームなデイサービスに重きを置き、高齢化や認知症による体力と意欲の低下を最大限に予防しつつ、お元気なご利用者様はますます元気で活発に日常生活を送ることができるサービスを目指して参りました。また、中庭での園芸活動と料理作りを一体化した“農・食一体の生活リハビリ”を目玉事業に位置づけ、楽しむ生活リハビリの実現を目指しました。

(1) 事業報告

1 食事

ホーム内の厨房にて栄養士が作成した献立により提供しております。また、食レクとして中庭で収穫した野菜を使って昼食作りやおやつ作りを毎月メニューを変えて実施し、楽しんでいただきました。

2 入浴

利用者様の状態に合わせて介助を行いました。個浴でのマンツーマン入浴介助を基本とし、利用者様の状況によっては2人対応で行いました。

3 排泄

個々の排泄パターンに合わせて支援を行いました。定時誘導に加えて随時の声かけと誘導を行い、利用者様の自尊心に配慮しながら、可能な限り自立した排泄が可能となるよう援助しました。

4 機能訓練

ご利用者様の生活状況（ADL、IADL等）や機能訓練に対するご希望を確認し、より効果的に取り組める内容を看護師が計画し実施しました。

(2) 実績報告

		平成30年度	平成31年度	前年比
年間利用者延人数	要介護	4,973名	5,127名	103.1%
	要支援	720名	663名	92.1%
稼働率	79.8%	81.5%	+1.7%	
平均要介護度	1.8	1.8	±0	
平均年齢	85.7	86.3	+0.4	

平成31年度の年間利用者延人数合計は5,790名(5,127+663名)で前年度5,693名に比べて1.7%増となりました。写真満載の「ハッピークローバー新聞、ニュースレター」を毎月発行し、地域や関係機関に配布し事業所を広く知ってもらうと共に、送迎付きの無料体験見学会を日常的に実施して、気軽に施設を知ってもらえるよう努めました。

(3) 取り組んだこと、トピック

ご利用者様のニーズに合わせ、自立度が高い方から、介助の必要度が高い方まで、職員とご利用者様が活動を通して楽しみながら過ごせるよう力を注ぎました。業務改善では、タブレット入力にて記録業務を簡素化し利用者様と過ごす時間が多く持てるように努めました。

活動内容では、appleTVを導入しカラオケや映画など楽しみの幅を広げました。また、男性のご利用者様には、畑づくりや工作等の活動を提案し、女性の利用者様には、手工芸や絵手紙等を促し、ご利用者様一人ひとりの役割や楽しみ、生きがいを導き出せるように実施しました。

また、新たな取り組みとして、ポールウォーキングと万歩計を使用しての歩行練習を行い、利用者同士が口コミで「私もやってみたい」との声が続々生まれています。その他、野菜を中心とした中庭での園芸活動を行い、収穫した野菜を昼食作り・おやつ作り、そして創作活動まで活用し、季節を感じながら生活の質の向上に繋げられるよう努めました。

地域貢献活動として、体操と料理教室をセットにした“はるカフェ”を毎月開催し、包括支援センターや自治会などに呼びかけ、地域に開かれたデイサービスを目指しました。



昼食づくり・流しそうめん



菊花展外出



園芸活動



手芸倶楽部

4 訪問介護事業 (ホームヘルプ[®])

平成30年9月より、ホームヘルプ事業を開始いたしました。ホームヘルプ事業は、デイサービス、ショートステイ、グループホームの利用者様にも顔見知りの職員がケアを行うことで安心して利用できる環境を整えています。立川市内を中心に、ご利用者様、ご家族様のお気持ちに寄り添ったケアを行い、喜ばれる施設づくりを目指し支援して参りました。

総合事業や介護保険のサービスでは対応できない不足部分を有償サービスでカバーし安心できるケア提供を行いました。

(1) 事業報告

初任者研修修了（ホームヘルプ2級）または介護福祉士の資格を持った介護職員が、在宅での支援を必要とされる方々へサービスをお届けしています。

[ホームヘルプサービス]

・介護保険

生活援助：買物 調理 洗濯 掃除等

身体介護：清拭 オムツ交換 入浴

車いす介助 通院通所介助等



・総合事業（生活支援センター）

生活支援：買物 調理 洗濯 掃除等

・障害者総合支援

生活支援：買物 調理 洗濯 掃除等

身体介護：入浴 通院介助

同行援護：視覚障害者への外出介助



・有償サービス

介護保険では対応できないサービス

病院内での介助・見守り・散歩や余暇活動等

(3) 取り組んだこと、トピック

・新規利用者獲得のための営業活動

居宅事業所へ、毎月パンフレットと空き状況を配布し営業活動を行いました。



・重度ケアへの積極的な取り組み

重度訪問介護のケアに取り組み、コーディネーターに利用者様とそのご家族様の気持ちに寄り添ったケアを行いました。

・利用者様のニーズを的確に把握し

安心できるケア提供

ご本人の生活にどのような困り事があるか、どうすれば解消されるか等、コミュニケーションを密接にとることでご本人の希望にしっかりと応えられるよう対応しました。



・毎月 法人内外の勉強会に参加

スキルアップの為の勉強会や法人内のヘルパー会議・コーディネーター会議に参加し他事業所と交流を図りながら知識・技術の向上に努めました。勉強会の後は、ストレッチ体操などを行い、健康維持に役立つ情報も共有しています。



(2) 実績報告

【年間延べ利用時間】

	平成30年度	平成31年度	前年比
介護保険	0時間	53時間	530%
総合事業	0時間	0時間	-
障害総合	35時間	77時間	220%
有 償	0時間	33時間	330%
合 計	35時間	163時間	465%

ホームヘルプ事業を平成30年9月に開始し、新規利用者の獲得とヘルパーの確保が課題となっていました。障害総合の長時間のケア依頼もありましたが、担い手不足で対応できることもあり、令和元年10月を以ってホームヘルプ事業を廃止しました。

4 年間スケジュール・イベント

(1) 年間イベントカレンダー

月	イベント名
4月	お花見（全体）
5月	野菜の植付け、YFS（グループホーム運営推進会議）
6月	やわらぎエンターテイメント、高幡不動紫陽花外出
7月	七夕、YFS
8月	夏祭り、流しそうめん
9月	やわらぎ秋祭り（全体）、敬老祝賀会、YFS
10月	秋の運動大会、富士見町文化祭出展
11月	秋の外出、YFS、富士見町フリーマーケット
12月	クリスマス会、石田倉庫イベント
1月	初詣、新年会、YFS
2月	節分、バレンタインデー
3月	ひな祭り、YFS

(2) 倶楽部活動

手芸、書道、手工芸、茶道、陶芸、大正琴などの俱楽部活動をご用意しております。先生の指導により、素敵な作品が出来上がっています。皆様の作品は正面玄関入口の展示スペースに飾っておりまので、ぜひ一度ご覧ください。

グループホーム、ショートステイ、デイサービスのご利用者様合同で実施しているので、いろいろな方と触れ合うことができ、好評をいただいております。



手芸俱楽部



書道俱楽部



カラオケ俱楽部



陶芸俱楽部

(3) やわらぎ秋祭り

毎年恒例、やわらぎ秋祭りの様子です。屋台のほか、よさこい、お囃子、だんだんダンスの披露など、沢山の出し物で盛り上りました。着付けをはじめ、ボランティアさんの協力をたくさんいただきました。最後は盆踊りで汗を流しました。



(4) 行事・レクリエーションなど

季節の行事や調理、ボランティアさんによる演奏会、地域の皆様との交流など、沢山の楽しいイベントを実施しました。今年は、昨年出店できなかった富士見町フリーマーケットに出店し地域の方に知っていただききっかけとなりました。これからも皆様の笑顔を沢山引き出せるようなイベントをどしどし企画いたしますのでご期待ください。



喫茶『友』



富士見町フリーマーケット



フラダンス



敬老祝賀会

KOKUBUNJI



やわらぎ・国分寺事業所

事業所長から

やわらぎ国分寺事業所では居宅介護事業・訪問介護事業・認知症対応型通所介護事業の3事業に加え、シルバービアの委託管理業務を行っています。

それぞれのスタッフ22名と登録ヘルパーさん30名、約50名の仲間と試行錯誤しながら歩み続けています。

令和元年7月に事務所のリニューアルを行い、明るく、心地よい空間になりました。

平成29年より取り組んできたこども食堂では、「子はたからプロジェクト」とのコラボレーションを行い、調理とともに、子供たちの遊びの時間と育児をする親の情報共有や悩みの相談なども行い、地域での活動として定着しています。

だんだんダンスの講習会は平成31年度も毎月第一土曜日に開催しました。LSAと協力し、シルバービアの談話室で行うようになりました。

今後もこのような活動を通じ、地域の方々に愛される事業所を目指していきたいと思います。



■ 居宅介護支援事業

営業地域 国分寺市・国立市
営業日・時間 月～土 8:30～17:30

■ 訪問介護事業

営業地域 国分寺市・国立市
営業日・時間 月～土 8:30～17:30

■ 認知症対応型通所介護

定員 12名
営業地域 国分寺市
営業日・時間 月～土 8:30～17:30

1 訪問介護事業 (ホームヘルプ)



お子様からお年寄りまで安心して生活できる、地域に根ざしたサービス提供が出来るよう、支援しています。自立支援を基本に、利用者様がその人らしい生活を送れるようコーディネートしてきました。

平成26年度より取り組んでいる障害者総合支援、また、国分寺市で平成28年度より開始された介護予防・日常生活支援総合事業にも取り組むことにより、様々な利用者様の多様なニーズにも対応しています。必要とされるサービスを充分に提供するため、スタッフの確保・教育にも力を入れています。

(1) 事業概要

介護福祉士または初任者研修修了（旧ホームヘルパー2級）の資格をもった介護職員が、高齢者や障害者などご自宅でのお世話を必要とされている方々へサービスを提供します。

《介護保険》

- ・生活援助：掃除 洗濯 買物 調理等
- ・身体介護：入浴 排泄 食事 車椅子介助等

《総合事業》

- ・訪問型サービス：掃除 洗濯 買物 調理等

《障害者総合支援》

- ・居宅介護：ご自宅での入浴、排泄、食事等
 - ・重度訪問：重い障害のある方への総合支援
 - ・同行援護：視覚障害の方への外出支援
 - ・移動支援：円滑に外出していただくための支援
- 《有償サービス》（介護保険外のサービス）
- ・病院内での見守り、介助等
 - ・家事援助・身体介護

《自治体の委託事業》

- ・育児支援事業
- ・生活支援ヘルパー事業
- ・自立促進事業



(2) 実績報告

（年間延べ利用時間）

	平成30年度	平成31年度	前年比
介護保険	7,844 時間	7,812 時間	99.6%
総合事業	2,019 時間	2,069 時間	102.0%
障害総合	3,381 時間	3,441 時間	106.0%
有 償	518 時間	382 時間	73.7%
合 計	13,762 時間	13,704 時間	99.6%

(3) とりくんだこと、トピック

《ヘルパー教育》

毎月、研修・会議を実施し、特定事業所加算を取得いたしました。

専門家をお招きし、専門知識・技術を学び、また、ベテランヘルパーから技術・知識を伝える機会設け、さらなるスキルアップをはかっております。



オムツメーカーから専門家を招いた研修



ヘルパー間の技術の共有



《ヘルパー獲得》

事務所のウィンドウ掲示を明るくリニューアルし、さらに募集の掲示も更新しています。新しい募集チラシの配布も行い、新たなヘルパーさんとの出会いを目指しています。



2 認知症対応型通所介護事業 (デイサービス)

やわらぎ国分寺では、国分寺市唯一の単独型認知症対応型通所介護事業所として活動してきました。地域に密着したサービス提供を行い、利用者様だけでなく地域の方にも気軽に参加していくたける開かれたデイサービスを目指してきました。

昨年度に引き続き、地域のボランティアグループによるヴァイオリン、バンド演奏など音楽を通しての交流や犬とふれあうアニマルセラピー、アロマオイルを使用したハンドセラピーや囲碁、錢太鼓など、ボランティアさんを通して地域の方々との交流の機会を多く持つことができました。

デイサービスの活動の場を屋外に広げ、外食ランチを楽しむ機会を定期的に開催しました。

認知症の方が無理なく通所ができるよう、短時間利用や臨時利用など、柔軟な対応を行っています。



(1) 事業概要

国分寺市内在住の要介護1から要介護5までの高齢者が通われるデイサービス事業所です。

地域密着型で何らかの認知症状のある方が通われています。

《ご利用時間》

- ・3時間～4時間 (短時間でも入浴・食事付き)
- ・4時間～5時間 5時間～6時間
- ・6時間～7時間 7時間～8時間

《入浴》

- ・ご家庭の浴室同様のお一人様専用のお風呂です。
- ・入浴の回数は相談に応じます。
- ・身体的に介助が必要な方は安全に入浴出来るよう介助します。

《食事》

- ・栄養バランスのとれたお食事を温めてお出しします。日によっては職員や利用者様と共同の手作り昼食を提供します。

《機能訓練》

- ・鍼灸師が状態にあわせたりハビリを行います。

(2) 実績報告

	平成30年度	平成31年度	前年比
介護保険	2,078名	2,265名	108.9%
介護予防	0名	0名	—
稼働率	56.4%	61.9%	109.8%
介護度	2.3	2.3	—
平均年齢	86歳	86歳	—

(3) とりくんだこと、トピック

《地域の方との交流》

ボランティアグループを積極的に受け入れました。犬たちとの触れ合いは、ご利用者様のみならず、職員にとっても癒されるひと時でした。

《脳トレーニング》

来所され、皆さんがお集まりになるまでの少しの時間を自習時間とし、脳トレーニングの時間にしました。間違いさがしやクロスワードパズル、皆さん真剣に取り組れます。

《手作りランチ》

主婦歴の長いご利用者様たちです。認知症だからといって包丁が使えなくなるわけではありません。職員と協力し、毎月おいしいランチを作りました。

《四季折々の外出・外食に出掛けました》

近所には自然いっぱいの姿見の池があり、鴨の親子や桜、鯉の様子が楽しめました。

外食ランチは普段なかなか外食の機会の少ないご利用者様にとって大きな楽しみとなっています。

《フラワーアレンジメント》

季節の花のアレンジを皆さんで楽しみました。



3 居宅介護支援事業 (ケアマネジメント)

1名の主任ケアマネジャーを含む7名のケアマネジャーが地域の高齢者、要介護者の方々に対し、安心して生活できるように支援して参りました。法令を遵守したケアマネジメントを実施するため、毎週の居宅のミーティングにおいて専門職であることを意識しながら話し合い、適切なケアプラン作成に結び付けてきました。

職員の異動を含め新入職員も多く配属されました。新人が明るく力をつけていけるように環境を整えながら育てていくことの難しさを学びました。

市が主催する研修を含め障害や医療関連等の研修に積極的に参加し、新たな知識の習得に努めてきました。事業所関係者や医療関係者と日々連携する中で信頼関係の構築に努め、看取りケースや他制度（障害・生活保護・権利擁護）との連携ケースなどに地域の社会資源を取り入れながらご利用者・ご家族・事業者と信頼関係を構築することができました。

また、ケアマネジャー連絡会で役員を務めたり、地域の他の居宅介護支援事業所と合同で事例検討会を行うなど、市内のケアマネジャーのつながりを深めることで、地域包括ケアマネジメントの中での役割を深めしていました。



(1) 事業内容

《ケアプランの作成》

居宅における要支援・要介護状態の利用者様の環境や心身の状況を把握しています。

利用者様またはご家族様の希望を勘案し、利用する指定居宅サービス等の種類及び内容を確認しています。

以上にもとづきケアプランの作成を行っています。

指定居宅サービス等の提供が確保されるように調整を行っています。

《地域包括ケアシステムの構築》

地域社会全体でサービスを提供するシステムを活用しています。

《各書類申請代行》

市に提出する必要な書類を利用者様が提出出来ない場合、ケアマネジャーが代行し申請を行っています。

《認定調査員として》

国分寺市に在住する他市の被保険者の認定調査を、各区市町村からの委託を受け行っています。

	平成30年度	平成31年度	前年比
介護保険	2,651名	2,646名	99.8%
介護予防	850名	805名	94.7%
合 計	3,501名	3,451名	98.6%



(2) とりくんだこと、トピック

《認知症予防ダンス & はるカフェ》

昨年に引き続き、認知症予防への取り組みとして、地域の方とデイサービスの利用者様が一緒に「だんだんダンス」を楽しむ企画をたてました。地域センター、信用金庫などに掲示しているポスターにて周知を図っています。

今年度からは、LSAと一緒にシルバーピア談話室で行っており、地域により開かれたイベントとなりました。



HONBU



法人本部

事務局から

令和2年3月頃から新型コロナウイルスの感染が拡大し、わが国のみならず世界全体の停滞等により景気減速が懸念され、予断を許さない状況となっております。国内の介護業界については、高齢社会の進行に伴い介護サービスの需要は高まっているものの、サービスを担う人材を適時適切に確保することは、非常に難しく、人件費と採用コストの上昇が続く状況から、介護人材の採用と定着が引き続き介護事業所の大きな課題となっております。

また平成30年4月に施行された介護報酬と診療報酬の同時改定によって、全体的にサービス単価が引き下げられたことや、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い各行政からの外出自粛要請などによってサービス利用を一時的に控える兆候が見られ、介護業界を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当法人では平成31年度も中長期的な成長に向けた筋肉質な収益基盤の土台作りと位置づけ、引き続き「利用者本位のサービス」を継続するための基盤構築を図りました。

お客様に喜んでいただける「良い仕事」を提供できるよう、やわらぎの職員一人ひとりが笑顔で元気に働き、お互いに「良い仲間」となれるように、本部としての務めを果たしていきます。

最後に、毎年のことですが、多くの業務を抱える中、無事に年度末を越えることができ、職員の皆さんのご協力に感謝しています。

【管理業務】

■ 総務・広報

理事会運営、会議運営、勉強会の開催、文書管理、契約書・申請書等の作成、ホームページ管理、広報

■ 労務・人事

給与計算、人事労務管理、職員採用、社会保険手続き、証明書等の発行

■ 経理・会計

支払業務、決算書・試算表の作成、本部・各事業所の小口現金管理

■ 報求業務

国保連請求、利用者負担金請求書・領収書の発送、未収金管理



管理業務

(1) 理事会等の運営

日付	理事会	総会	議案
令和元年 5月27日	第60回	第21回	第1号議案 平成30年度 事業報告（案）について 第2号議案 平成30年度 決算報告（案）について 第3号議案 任期満了に伴う役員の改選について 第4号議案 代表理事の選任について 第5号議案 給与規程、準職員給与規程の一部改正について
令和2年 3月 (新型コロナウイルスの影響により 画面にて開催)	第61回	臨時	【議決事項】 第1号議案 令和2年度 事業計画（案）について 第2号議案 令和2年度 活動予算（案）について 第3号議案 第三者委員の選任について 【報告事項】 1 給与規程別表、準職員給与規程別表、ホームヘルパー給与規程別表の一部変更について

(2) 総務・広報

- ① ISO部会を中心に年間会議スケジュールを作成し、全体会や役職毎・職種毎の定例会議を開催しました。定例会議では、介護保険制度の改正や市場環境の変化に機敏に対応しうる職員の勉強会等の開催、また教育訓練部会が中心となって、外部講師を招いた研修会を実施しました。
- ② 第12回を迎えた実践報告会は、実践テーマ・内容・発表技術などがいずれも進歩しており、総評をお願いしている外部の先生からも高い評価をいただきました。
- ③ 福祉サービス事業者として守るべき法・規範・倫理などを正しく理解し、法令を順守した事業展開をサポートしました。
- ④ 視察やメディア等の取材、調査研究のインタビュー等を積極的に受け入れ、法人認知度を高めるための情報発信に努めました。
- ⑤ ホームページをリニューアルし、より多くの方々にアクセスしてもらえるように努めました。

(3) 経理・会計、請求業務

① 会計処理

前年度に引き続き、会計事務所の協力により、会計業務全般のサポートを受けながら、会計業務を遅滞無く処理することができました。

② 介護保険請求

各事業所と国保連合会への請求について連携を図り、遅滞無く請求を行うことができました。

③ 利用者請求

利用者様からの未収金を管理し、漏れること無く請求を行うことができました。

(4) 労務・人事

① 優秀な人材の確保を行うための定期昇給手続きのほか、法人全体の適正な人員配置を維持するために必要に応じて職員の求人活動及び採用等を行い、人材の確保に努めました。

② 職員の健康管理のために、日勤者は年1回、夜勤者は年2回の健康診断及び全職員・ヘルパーを対象とした検便検査を実施しました。

③ 前年度と同様に「ストレスチェック」を実施しました。衛生委員会と連携を取り、産業医の先生のご協力をいただき、職員の精神面の支援に取り組みました。



4月全体会の様子



12月全体会(懇親会)の様子

特定非営利活動法人ケア・センター やわらぎ 職種別人員一覧

区分		平成31年3月31日現在			令和2年3月31日現在			増減		
事業所	職種	常勤職員	非常勤職員	合計	常勤職員	非常勤職員	合計	常勤職員	非常勤職員	合計
やわらぎ立川	サービス提供責任者	0	2	2	1	2	3	1	0	1
	介護職	2	5	7	4	4	8	2	-1	1
	ドライバー職	0	2	2	0	1	1	0	-1	-1
	事務職	0	1	1	0	1	1	0	0	0
	職員小計	2	10	12	5	8	13	3	-2	1
	ヘルパー	0	61	61	0	48	48	0	-13	-13
	事業所計	2	71	73	5	56	61	3	-15	-12
やわらぎ西立川	サービス提供責任者	1	0	1	0	0	0	-1	0	-1
	介護職	21	22	43	18	20	38	-3	-2	-5
	看護職	0	3	3	0	3	3	0	0	0
	生活相談員	1	1	2	0	1	1	-1	0	-1
	管理栄養士	1	0	1	1	0	1	0	0	0
	ドライバー職	0	1	1	0	1	1	0	0	0
	用務員	0	1	1	0	1	1	0	0	0
	職員小計	24	28	52	19	26	45	-5	-2	-7
	ヘルパー	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所計	24	28	52	19	26	45	-5	-2	-7
やわらぎ国分寺	サービス提供責任者	2	1	3	2	1	3	0	0	0
	介護職	2	9	11	3	6	9	1	-3	-2
	介護支援専門員	2	6	8	4	3	7	2	-3	-1
	言語聴覚士	0	1	1	0	0	0	0	-1	-1
	ドライバー職	0	2	2	0	1	1	0	-1	-1
	事務職	0	1	1	0	1	1	0	0	0
	職員小計	6	20	26	9	12	21	3	-8	-5
	ヘルパー	0	30	30	0	25	25	0	-5	-5
	事業所計	6	50	56	9	37	46	3	-13	-10
やわらぎ阿佐谷	介護職	0	3	3	0	0	0	0	-3	-3
	事業所計	0	3	3	0	0	0	0	-3	-3
法人本部	事務職	4	0	4	5	3	8	1	3	4
	事業所計	4	0	4	5	3	8	1	3	4
職員合計		36	61	97	38	49	87	2	-12	-10
ヘルパー合計		0	91	91	0	73	73	0	-18	-18
総合計		36	152	188	38	122	160	2	-30	-28

※介護職員は、グループホーム・ショートステイ・デイサービスの介護職員及び訪問介護のコーディネーターを指す。

※複数職種の兼務者は、事業所内で兼務している職種のいずれかに配分した。

MEMO

特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ

- やわらぎ・立川事業所（研修センター）
〒190-0022 東京都立川市錦町2-6-23 小川ビル1階（2階）
TEL : 042-523-3463 FAX : 042-523-6842
- やわらぎホーム・西立川事業所
〒190-0013 東京都立川市富士見町2-31-23
TEL : 042-526-2207 FAX : 042-526-2208
- やわらぎ・国分寺事業所
〒185-0012 東京都国分寺市本町4-1-2 エスポアール花澤台1階
TEL : 042-327-0417 FAX : 042-327-0415
- やわらぎ・阿佐谷事業所
〒166-0015 東京都杉並区成田東5-30-7
TEL・FAX : 03-5397-8030
- ケア・センターやわらぎ 法人本部
〒190-0013 東京都立川市富士見町2-31-23
TEL : 042-526-2217 FAX : 042-526-2208
E-mail : honbu-1@yawaragi.or.jp
<http://www.yawaragi.or.jp/>